

宮城県援護寮
施設サービス評価(自己評価)報告

自己評価表 (宮城県援護寮)

共通評価基準 (45項目) I 支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

自己評価結果	内容
a	<p>① 1 理念、基本方針が確立・周知されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（福祉施設・事業所）内の文書やパンフレット、ホームページ等）に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念は、法人（福祉施設・事業所）が実施する福祉サービスの内容や特徴を踏まえた法人（福祉施設・事業所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができている。</p> <p><input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、利用者や家族への周知が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
法人パンフレット、ホームページに記載、事業所下及び事務所内に掲示、全職員に回覧、職員会議で周知実施。	

2 経営状況の把握

自己評価結果	内容
a	<p>① 1 経営環境の変化等に適切に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/> 2 事業経営をとりまく環境と経営状況的確に把握・分析されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
事業自己評価、四半期ごとの事業方向、会計月次報告の実施、地域の自立支援協議会への出席	

自己評価結果	内容
a	<p>② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
法人定款、事業自己評価、監事監査、会計月次報告、全計監査法人による監査、法人理事会、評議員会等	

3 事業計画の策定

自己評価結果	内容
a	<p>(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。</p> <p>① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
事業計画重点目標	

自己評価結果	内容
a	<p>② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
事業系かつの重点目標に記載	

自己評価結果	内容
a	<p>(2) 事業計画が適切に策定されている。</p> <p>① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手続にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手続にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）されており、理解を促すための取組を行っている。</p>
【判断した理由・特記事項等】	
事業計画重点目標により全体・役員で実施、全職員会議、職員全体会議にて事業の進捗状況を把握し検討している、次年度事業計画については職員会議で目標も定めている、事業自己評価の結果を事業計画に反映している。	

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 管理者の責任が明確にされている。

	自己評価結果
① 10 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を促している。	a
<input type="checkbox"/> 管理者は、自らの福祉施設・事業所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化することともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における管理者の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 広域連携等に配慮、事業計画、運営規程を顕下掲示額に提示している。職員会議や朝のミーティングの際に必要な応じて周知、緊急時行動計画に記載している。

	自己評価結果
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 管理者は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 定期的に各種研修会に参加している。法人法令遵守規定、法令遵守研修の実施。

(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。

	自己評価結果
① 12 福祉サービスの質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/> 管理者は、実施する福祉サービスの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、福祉サービスの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 現状を報告し情報共有を図り、課題に対し具体的な助言がある。

	自己評価結果
② 7 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、利用者や家族等に周知（配布、掲示、説明等）されている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を利用者会や家族会等で説明している。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、利用者等がより理解しやすい工夫を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画については、利用者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 利用者へ年2回以上定期的にプロジェクトを用いて利用者へ事業計画の説明を行っている。入所時には家族へ説明し、行事の実施の際は利用者のいけんを取り入れている。年毎的の広報誌に掲載している。

4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

	自己評価結果
① 8 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく福祉サービスの質の向上に関する取組を実施している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉サービスの内容について組織的に評価（C: Check）を行う体制が整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 事業計画から業務の課題点を抽出、分析し、改善している。3年に1度の外部評価機関による評価受審を令和7年度に実施予定。自己評価の実施、施設サービス評価第三者受審へ報告をする。

	自己評価結果
② 9 評価結果にもとづく施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】
 本会サービス評価機関に基づき評価結果、分析を法人本部へ報告し、ホームページへ掲載、職員会議で結果や課題を職員へ周知し、結果に基づき取り組みを次年度の計画に反映させている。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような施設内の工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

健康診断やストレスチェックの実施、メンタルヘルス、有給休暇確保、各種資格取得の確保、労働時間管理

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

① 17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
<input type="checkbox"/> 個別面談を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。	○
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期間が明確にされた適切なものとなっている。	○
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面談を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面談を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人として職員に対しての研修計画が必須となっている。職員一人一人に対しての明確な目標の仕組みはないが、職員に対しては人事ヒアリングで面談し今後の課題・目標を示される。

② 18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。

<input type="checkbox"/> 組織が目指す支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	a
<input type="checkbox"/> 現在実施している福祉サービスの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人研修部による研修計画の策定、職員研修課程に記載、職場研修記録簿に記載。

② 13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。

<input type="checkbox"/> 管理者は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 管理者は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 管理者は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【判断した理由・特記事項等】

職員配置改善、労働時間管理、会計月次報告書、決算報告書

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	自己評価結果 a
<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職（有資格の職員）の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 法人（福祉施設・事業所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。	○

【判断した理由・特記事項等】

組織計画、経営理念に記載している。資格取得の把握、研修課程により育成している

② 15 総合的な人事管理が行われている。

<input type="checkbox"/> 法人（福祉施設・事業所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。	a
<input type="checkbox"/> 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度を評価している。	○
<input type="checkbox"/> 職員如選の水準について、知選改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○
<input type="checkbox"/> 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。	○

【判断した理由・特記事項等】

人事考課、人事ヒアリングの実施、職員へのフォローアップ、法人職員研修計画

③	19 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況を把握している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識、技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画、年度事業要項によりシステムへ入力。各種研修は研修規程や指針の必要性によって受講システムへ入力。		

(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明確化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 専門職の特性に配慮したプログラムを用意している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを重畳するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していただくための工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
令和6年度は受入れ1件3週間の実習であった。		

3 運営の透明性の確保

(1)	運営の透明性を確保するための取組が行われている。	自己評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人・福祉施設・事業所の運営や基本方針、提供する福祉サービスの内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 法人（福祉施設・事業所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示、説明し、法人（福祉施設・事業所）の存在意義や役割を明確にするよう努めている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報紙等を配布している。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
広報紙やホームページに記載、職員会議で読み合わせを実施。		

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における算務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における算務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所における算務、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指図書事項に基づいて、経営改善を実施している。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
事業計画に明示、監事監査、県による受託事業モニタリング、会計監査法人の監査を受け、指図書事項を踏まえ改善を実施。		

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	自己評価結果
①	23 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で利用者へ提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 利用者の個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所や利用者への理解を得るために、地域の人々と利用者との交流の機会を定期的に設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 利用者の買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
各関係機関へ広報紙を送付、理髪美化活動の実施、社会資源情報の提供、施設見学の実施。		

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して利用者との交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教育への協力を行っている。	<input type="checkbox"/>
【判断した理由・特記事項等】		
夏祭り行事への学生ボランティアを受入れ実施。		

(2) 関係機関との連携が確保されている。

	a	自己評価結果
① 25 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<input type="radio"/>	a
<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の利用者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がいない場合には、利用者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

自立支援協議会や各種団体の会議・連絡会に参加。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

	a	自己評価結果
① 26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行なわれている。	<input type="radio"/>	a
<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所（法人）が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題の把握に努めている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

大崎市の自立支援協議会に参画し、情報取組し共有を図っている。

	b	自己評価結果
② 27 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等に基づいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所（法人）が有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行なっている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

行政区の集会所や大崎市の清掃活動に参加している。

Ⅲ 適切な支援の実施
利用者本位の福祉サービス

(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

	a	自己評価結果
① 28 利用者を尊重した福祉サービス提供についての共通の理解をもつための取組を行っている。	<input type="radio"/>	a
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 利用者を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 利用者を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 利用者の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 利用者の尊重や基本的人権への配慮について、定期的な状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

利用規約書、重点事項説明書に記載

	a	自己評価結果
② 29 利用者のプライバシー保護等に配慮した福祉サービス提供が行われている。	<input type="radio"/>	a
<input type="checkbox"/> 利用者のプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・業務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等に基づいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 一人ひとりの利用者にとって、生活の場に基づいた快適な環境を提供し、利用者のプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 利用者や家族にプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

	a	自己評価結果
① 30 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	<input type="radio"/>	a
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、実施する福祉サービスの内容や福祉施設・事業所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 福祉施設・事業所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。	<input type="radio"/>	
<input type="checkbox"/> 利用希望者に対する情報提供について、遠慮見直しを実施している。	<input type="radio"/>	

【判断した理由・特記事項等】

利用者への情報提供、要望に応じ見学を実施している。

(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。 <input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を利用者等に配布し説明している。 <input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、利用者や家族が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。 <input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策については、利用者や家族等に必ずフィードバックしている。 <input type="checkbox"/> 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出した利用者や家族等に配慮したうえで、公表している。 <input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、福祉サービスの質の向上に関わる取組が行われている。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人のなんでも相談機能（平成25年4月1日改正版）、重要事項説明書、利用者アンケートの実施、意見ボックスの設置

②	35 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 利用者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 <input type="checkbox"/> 利用者や家族等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用契約書になんでも相談、苦情解決担当者等を記載、案内にポスターを掲示

③	36 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の業務の実施において、利用者が相談しやすい意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 <input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、利用者の意見を積極的に把握する取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討などについて定めたマニュアル等を整備している。 <input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。 <input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、支援の質の向上に関わる取組が行われている。 <input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

対応策については相談や意見箱に随時、実施。

②	31 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> サービス開始・変更時の福祉サービスの内容に関する説明と同意にあたっては、利用者の自己決定を尊重している。 <input type="checkbox"/> サービス開始・変更時には、利用者がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。 <input type="checkbox"/> 説明にあたっては、利用者や家族等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。 <input type="checkbox"/> サービス開始・変更時には、利用者や家族等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。 <input type="checkbox"/> 意思決定が困難な利用者への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用のしおり、日中プログラム等の資料に基づき、各個人ごとに説明を行っている。

③	32 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。 <input type="checkbox"/> 他の福祉施設・事業所や地域・家庭への移行にあたり、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 <input type="checkbox"/> 福祉サービスが終了した後、組織として利用者や家族等が相談できるよう担当者が窓口を設置している。 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの利用が終了した時に、利用者や家族等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【判断した理由・特記事項等】

文書化はされていないが関係者に配慮した対応を行っている。

(3)	利用者満足度の向上に努めている。	自己評価結果
①	33 利用者満足度の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 利用者の満足に関する調査が定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 利用者への個別の相談面接や聴取等が、利用者満足度を把握する目的で定期的に行われている。 <input type="checkbox"/> 職員等が、利用者満足度を把握する目的で、利用者会や家族会等に出席している。 <input type="checkbox"/> 利用者満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、利用者参画のもと検討会議の設置等が行われている。 <input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用者アンケートを毎月実施し結果を職員に周知している。週間ミーティングや朝礼で意見を取り入れられている。所長との面談を年2回実施している。

(5) 安心・安全な福祉サービス提供のための組織的な取組が行われている。

自己評価結果	a
① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	<input type="radio"/>
<input type="radio"/> リスクマネジメントに關する責任者の明確化（リスクマネージャーの責任・配置）、リスクマネジメントに關する委員会を設置するなどの体制を整備している。 <input type="radio"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。 <input type="radio"/> 利用者の安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。 <input type="radio"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。 <input type="radio"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に關する研修を行っている。 <input type="radio"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
法人のリスクマネジメント期間に記載	

② 38 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。

a	<input type="radio"/>
<input type="radio"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。 <input type="radio"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。 <input type="radio"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に關する勉強会等を開催している。 <input type="radio"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。 <input type="radio"/> 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。 <input type="radio"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
衛生推進委員会、保健衛生体の設置、法人感染症マニュアルの整備等、全館で情報共有を図っている。	

③ 39 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にしている。

a	<input type="radio"/>
<input type="radio"/> 災害時の対応体制が決められている。 <input type="radio"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。 <input type="radio"/> 利用者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。 <input type="radio"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。 <input type="radio"/> 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
危機管理計画、緊急時行動計画	

2 福祉サービスの質の確保

(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

a	<input type="radio"/>
<input type="radio"/> ① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。 <input type="radio"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 <input type="radio"/> 標準的な実施方法には、利用者の尊重、プライバシーの保護や権利擁護に關わる姿勢が明示されている。 <input type="radio"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 <input type="radio"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
運営規程、法人、東の監査指導の実施	

② 41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。

a	<input type="radio"/>
<input type="radio"/> 福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しに關する時期やその方法が組織で定められている。 <input type="radio"/> 福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。 <input type="radio"/> 検証・見直しにあたり、個別支援計画の内容が必要に応じて反映されている。 <input type="radio"/> 検証・見直しにあたり、職員や利用者からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
利用契約書、重要事項説明書に記載されている。	

(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。

① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。

a	<input type="radio"/>
<input type="radio"/> 福祉サービス実施計画策定の責任者を設置している。 <input type="radio"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 <input type="radio"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 <input type="radio"/> 福祉サービス実施計画には、利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。 <input type="radio"/> 福祉サービス実施計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、利用者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 <input type="radio"/> 福祉サービス実施計画どおりに福祉サービスが行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。 <input type="radio"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な福祉サービスの提供が行われている。	<input type="radio"/>
【判断した理由・特記事項等】	
適切に実施。	

内容評価基準 (26項目)

A 福祉サービスの内容

A-1 利用者の尊重と権利擁護

(1) 自己決定の尊重

	自己 評価結果
46 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念に基づく個別支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念に基づく個別支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 趣味活動、衣服、美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者が話し合う機会）を設けて決定している。	○
<input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。	○
<input type="checkbox"/> 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。	○

【判断した理由・特記事項等】

個別支援計画作成には利用者面談を必須とし、自己決定の反映に努めている。変更がある場合には利用者ミーティングで話し合い、理由を説明している。

(2) 権利侵害の防止等

47 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている	a
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を取集・提示して利用者に周知している。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。	○
<input type="checkbox"/> 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止等について職員が具体的に取組する確実なスケジュールに取組んでいる。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実施する仕組みが明確化されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

法人体理課例に基づく具体的行動計画に配慮、施設内廊下にも掲示、虐待防止委員会で定期的に確認している。

A-2 生活支援

(1) 支援の基本

48 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。	○
<input type="checkbox"/> 自律・自立生活のための動機づけを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 生活の自己管理ができるように支援している。	○
<input type="checkbox"/> 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。	○

【判断した理由・特記事項等】

利用契約書に基づき支援実施。

	a
43 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討事項の参加職員、利用者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した福祉サービス実施計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、福祉サービスを十分に提供できていない内容（ニーズ）等、福祉サービスの質の向上に関わる課題等が照らされている。	○

【判断した理由・特記事項等】

入寮するが月の暫定期間にアセスメントを実施。個別支援計画作成の際には必ず利用者面談を行い、意向確認をしている。

(3) 福祉サービスの実施の記録が適切に行われている。

44 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<input type="checkbox"/> 利用者の身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
<input type="checkbox"/> 福祉サービス実施計画にもとづくサービスが実施されていることを記録により確認することができる。	○
<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
<input type="checkbox"/> 組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【判断した理由・特記事項等】

事業所内のネットワークで利用者記録や各種様式を使用しており、記録は印刷し上司の授意を受け、全職員が回覧し情報共有されている。

45 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、利用者の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報保護の不正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、利用者や家族に説明している。	○

【判断した理由・特記事項等】

個人情報・特定個人情報保護規程 事業計画の事務分掌に責任者を記載、利用契約書及び重要事項説明書に記載

	a
49 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	○
○ 利用者の心身の状況に応じて、様々な機会や方法によりコミュニケーションが図られている。	○
○ コミュニケーションが十分ではない利用者への個別対応が行われている。	○
○ 意見表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。	○
○ 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。	○
○ 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

自立訓練の対象者は日暮のコミュニケーションが出来ることが前提、精神症状による体調悪化については、く湯足やペースダウンを促すなど配慮している。

	a
50 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	○
○ 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。	○
○ 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。	○
○ 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。	○
○ 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。	○
○ 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

月1回以上、担当職員との定期面談を実施、希望相談については随時対応している。

	a
51 個別支援計画に基づく日中活動と利用支援等を行っている。	○
○ 個別支援計画に基づき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化を図っている。	○
○ 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。	○
○ 利用者の意向に基づき余暇やレクリエーションが適切に提供されている。	○
○ 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。	○
○ 地域の様々な日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。	○
○ 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

月間、週間プログラムの作成、訓練外出や施設見学を実施

	a
52 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	○
○ 職員は障害に関する専門知識の習得と支援の向上を図っている。	○
○ 利用者の障害による行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。	○
○ 利用者の不適応行動などの行動障害に個別かつ適切な対応を行っている。	○
○ 行動障害など個別対応が必要な利用者の支援記録等に基づき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。	○
○ 利用者の障害の状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

活動を行う小グループの編成や食卓の席の配置を実施

	b
(2) 日常的な生活支援	
53 個別支援計画に基づく日常的な生活支援を行っている。	○
○ 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。	○
○ 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。	○
○ 利用者の心身の状況に応じて入浴支援を前提とし、必要に応じて着替え等を行っている。	○
○ 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。	○
○ 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

朝食と夕食は業者委託のクックチルドを提供している。(朝食は各自で調理)献立が示され変更は出来ないが、食卓当番者と職員で盛り付けなどを工夫し楽しく食事ができるよう配慮している。

	a
(3) 生活環境	
54 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	○
○ 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。	○
○ 居室、食卓、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。	○
○ 利用者が思い通りに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。	○
○ 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。	○
○ 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。	○

【判断した理由・特記事項等】

毎月自主点検を行い、不具合が無いかを確認している。

(4) 機能訓練・生活訓練

55 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の障害の状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

利用者の状況に応じて提供内容を工夫している。

(5) 健康管理・医療的な支援

56 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<input type="checkbox"/> 入浴、排せつなどの支援の様々な場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の障害の状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 障害者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

利用者は定期通院しており、医療面はそれぞれ主治医の指導を受けている。必要に応じて通院時同行支援を行っている。

57 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。

- 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。
- 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実にしている。
- 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示に基づく適切な支援や対応を行っている。
- 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示に基づき適切かつ安全な方法により行っている。
- 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。
- 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。

【判断した理由・特記事項等】

健康管理の支援については、主治医へ相談し指示を仰ぎ対応している。

(6) 社会参加、学習支援

58 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

日中活動プログラムに出席、参加型訓練については利用者にその制度理解を促している。

(7) 地域生活への移行と地域生活の支援

59 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の社会生活力や地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

(8) 家族等との連携・交流と家族支援

60 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。	<input type="radio"/>

【判断した理由・特記事項等】

A-3 発達支援

(1) 発達支援

61 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。
<input type="checkbox"/> 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもの発達に応じて必要となる基本的生活動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。 <input type="checkbox"/> 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。 <input type="checkbox"/> 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整を図っている。

【判断した理由・特記事項等】

対象外

A-4 就労支援

(1) 就労支援

62 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。
<input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの障害に応じた就労支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者の意向や障害の状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技能の習得や能力の向上を支援している。 <input type="checkbox"/> 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。 <input type="checkbox"/> 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。

【判断した理由・特記事項等】

対象外

63 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。
<input type="checkbox"/> 利用者の意向や障害の状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 <input type="checkbox"/> 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 <input type="checkbox"/> 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 <input type="checkbox"/> 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。

【判断した理由・特記事項等】

対象外

64 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。
<input type="checkbox"/> 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。 <input type="checkbox"/> 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者の障害の状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 <input type="checkbox"/> 利用者や地域の障害者が就職した場合などの受入や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 地域の企業等との関係性の構築や障害者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。

【判断した理由・特記事項等】

対象外

